

— 隨筆・その他 —

切手が語る医学 (No.235)

【偉人 アレクサンダー・フレミング②】

東区・紫南支部 古庄 弘典

アレクサンダー・フレミング (1881-1955)

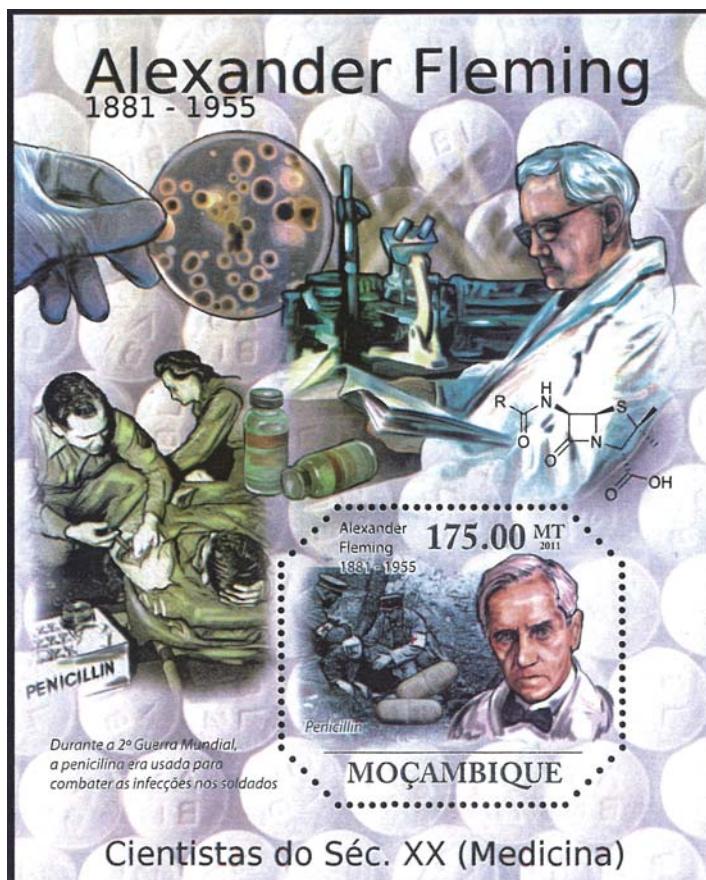
イギリスの細菌学者。

抗菌物質リゾチーム (lysozyme) とアオカビ (*Penicillium notatum*) から見出した世界初の抗生物質、ペニシリンの発見者。

フレミングはペニシリンの精製には成功しなかった。

1940年フローリーとチェーンがペニシリンを精製し効果的な製剤にする方法の開発に成功した。

1945年にフレミング、フローリー、チェーンはノーベル生理学・医学賞を共同受賞した。



切手は、フレミングの肖像と戦場での赤十字兵の活動を描く
シート地には、細菌・顕微鏡・研究するフレミング・注射する場面を描く
モザンビーク (2011年) 小型シート (1種)